福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：142
街路樹のくぼみにキャスタがはまりこみ、転落しそうになる

場面の説明

前方が良く見えなかったため、キャスタが植林のくぼみに落ちてしまった



利用シーン	移動 外出
主な利用場所	段差・縁石
介護保険の種目	車いす
分類コード (CCTA95)	122103 (介助用車いす)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

屋内とは異なり、歩道などの屋外では様々な環境が車いすでの移動の障害となります。この事例では、街路樹の根元にあるくぼみにキャスタがはまり込み、車いすが傾き、急に止まった勢いで利用者が前方に倒れかかっています。介助者からは、利用者の足元付近は死角となり見にくいものですが、少し先の路面状況を把握して余裕をもって障害物を避けるような介助を心がけましょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：よそ見をしていて前方をよく見ていなかった
人：死角になっている箇所に注意がいかなかった
環境：歩道がわずかに傾斜しており、ハンドルをとられてしまった
環境：歩道の有効幅員が狭かった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.